



我孫子市
Abiko city

令和8年9月30日
定例記者会見資料

白樺芸術祭 ABIKO 映画『東京物語』『暗夜行路』特別上映

白樺芸術祭実行委員会（Abiko A-life、我孫子市ほか）は、千葉県助成を受け、「白樺芸術祭 ABIKO」の一環として、志賀直哉ゆかりの地・我孫子で、映画『東京物語』と『暗夜行路』を大スクリーンで特別上映します。

いずれも、現代では上映機会が少ない希少な 35 ミリフィルムでの上映です。

『東京物語』

昭和 28 年（1953 年）／135 分／モノクロ／松竹配給

監督：小津安二郎

脚本：小津安二郎、野田高梧

志賀直哉を深く敬愛し、その文学から少なからず影響を受けたとされる小津安二郎監督の不朽の名作。昭和 28 年公開の白黒映画で、日本の家族の姿を繊細に描いた感動の物語。

山田裕さん（志賀直哉の孫）と矢島里奈さん（スタイリスト）のアフタートークもあります。



©1953 松竹株式会社

『暗夜行路』

昭和 34 年（1959 年）／140 分／モノクロ／東京映画／東宝配給

監督：豊田四郎

原作：志賀直哉

昭和 34 年に製作された志賀直哉の原作で、豊田四郎監督、池部良・山本富士子らが出演した白黒作品です。

山田裕さん（志賀直哉の孫）と野中真規子さん（文化ディレクター）のアフタートークもあります。



©TOHO CO., LTD.

【イベント概要】

日時:令和 8 年 11 月 8 日(日)

『東京物語』午前 11 時～午後 1 時 50 分

『暗夜行路』①午後 2 時 15 分～午後 5 時 ②午後 5 時 25 分～午後 8 時 15 分

※アフタートーク時間も含んでいます。

場所:けやきプラザ 2 階 ふれあいホール(我孫子駅南口徒歩 1 分)

料金:1 枚 1,500 円 ※別途手数料がかかる場合があります。

定員:各回先着 450 人

販売:11 月 7 日(土)まで

① アビシルベ(自由席)

② チケットぴあ(指定席)

(チケットぴあ P コード:『東京物語』556702、『暗夜行路』556696)

▼チケットぴあ『東京物語』

▼チケットぴあ『暗夜行路』



③ セブンイレブンのマルチコピー機(指定席)

【志賀直哉と我孫子】

志賀は「小説の神様」と称された白樺派の作家で、大正 4～12 年(1915～23 年)に我孫子に在住しました。我孫子には志賀が『暗夜行路』を執筆した書斎が今も残されています。

【問い合わせ】

我孫子市 環境経済部 商業観光課

担当:長沼・小林

電話:04-7185-1734

志賀直哉のゆかりの地、我孫子で、
希少な35mmフィルムによる「暗夜行路」と
志賀直哉との交流が深かった小津安二郎監督の
「東京物語」を特別上映します。
当時のフィルム上映の雰囲気をお楽しみください。

フィルム特別上映

暗夜行路 東京物語

© TOHO CO., LTD.

日時：2026年11月8日（日）
場所：けやきプラザ2階・ふれあいホール
（JR 我孫子駅南口徒歩1分）

料金：1,500円/枚 一部指定

主催：白樺芸術祭実行委員会（Abiko A-life・我孫子市・他）

11.8（日）

FILMSHOW

©1953松竹株式会社



● 暗夜行路

1959年/140分/モノクロ/東京映画制作/東宝配給
監督：豊田四郎 原作：志賀直哉

映画『暗夜行路』は、志賀直哉唯一の長編小説を、豊田四郎監督が1959年に映画化した作品です。池部良演じる主人公・謙作が、出生の秘密や家族、妻との関係に苦悩しながら、自らの生き方を探していく物語。人間の内面を静かに描いた、志賀文学を代表する作品です。

[志賀直哉と我孫子]

志賀直哉は1915年（大正4年）、我孫子に移り住み、手賀沼を望む自然豊かな環境で暮らしました。武者小路実篤や柳宗悦、バーナード・リーチら白樺派の仲間たちも集まり、文学や芸術について交流を深めたと言います。約7年間の我孫子での生活から『和解』『小僧の神様』『流行感冒』などの代表作が生まれ、『暗夜行路』の執筆も始まりました。



● 東京物語

1953年/135分/モノクロ/松竹配給
監督：小津安二郎 脚本：小津安二郎・野田高梧

映画『東京物語』は、「家族の絆と時代の変化」を描いた日本映画の名作です。笠智衆と原節子を主演に、尾道の老夫婦が東京の子どもたちを訪ねる物語。家族のすれ違いや親子の距離、時代による価値観の違いを淡々と描き、70年以上経った今も色あせない作品です。

[小津安二郎と志賀直哉]

小津安二郎は、志賀直哉より20歳年下で、志賀の簡潔で写実的な文章に強く影響を受けたと言われています。小津は志賀を深く敬愛し、親しく交流。『東京物語』の冒頭に描かれる尾道の風景にも、志賀直哉とのつながりを感じることができます。文学と映画という異なる表現ですが、余計なものを削ぎ落とし、人間の本質を描こうとする姿勢には共通するものがあります。



● 各映画上映後には約30分のアフタートークを行います。

◆ 東京物語

山田裕 志賀直哉の孫
学習院大学卒。総合エンジニアリング会社日揮グループ退職後、志賀直哉についての発信をしながら、現代アートを収集。志賀ゆかりの地である千葉県我孫子市の白樺文学館に志賀の遺品を寄贈している。

矢島里奈 ファッションスタイリスト
明治学院大学で映画史を学び、学生時代より小津安二郎作品を繰り返し鑑賞。現在は、その美学に影響を受けながら、映画作品を中心に衣装を手がけている。

◆ 暗夜行路

山田裕 志賀直哉の孫
野中真規子 文化ディレクター／文筆家
我孫子市在住。沼と人事務所代表。山田氏のnote連載記事を担当。絵本『大うなぎの神さま』では、白樺芸術祭出展アーティスト・渋谷薫との共同制作を行う。

チケットぴあ-暗夜行路



チケットぴあ-東京物語



日時：2026年11月8日（日）

東京物語 開場10：30 上映開始11：00
暗夜行路 開場14：00 上映開始14：15
暗夜行路 開場17：10 上映開始17：25

場所：けやきプラザ2階・ふれあいホール
（JR 我孫子駅南口徒歩1分）

料金：1,500円/枚 一部指定
販売：チケットぴあ（Pコード 暗夜行路:556696・東京物語:556702）
アビシルベ（JR我孫子駅 南口徒歩1分 Tell:04-7100-0014）
主催：白樺芸術祭実行委員会（Abiko A-life・我孫子市・他）